

令和5年度 第3回社会教育委員会議 資料集

資料1 周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第1部会）協議録

資料2 周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第2部会）協議録

資料3 周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第3部会）協議録

資料4 周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第3部会）協議資料
（仮称）しゅうなんコミュニティ・クラブ イメージ図（案）

参考資料 スポーツ・文化活動体験会実施報告書
スポーツ・文化活動体験会チラシ

周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第1部会）協議録
令和5年12月18日（月）
令和6年 1月15日（月）

【協議内容】周南市地域クラブの持続可能な体制づくりについて

(1) 登録団体などの管理運営体制に関するガイドラインについて

- ・団体の登録条件については競技志向に偏らず、多様な団体等が登録できる条件にする必要がある。
- ・募集要項について、文化とスポーツが同じような条件で設定することは困難であるため、それぞれで作成する必要がある。
- ・子どもたちのニーズに応えることを第一に考えると、市外の地域クラブについても積極的に紹介していきたい。
- ・目的には、中学生の「やってみたい」、「多様性」、「地域の居場所」の一つという方針の実現と、周南市の文化・スポーツ振興につなげるというものがある。文化・スポーツ振興につながるガイドラインにしたい。
- ・緩やかなガイドラインにすることで、中学生を受け入れ可能な団体の数をより多く確保することが重要である。
- ・活動場所に必ず代表者または大人が1人以上はおり、安全面に配慮する運営を求めたい。
- ・地域クラブが適正に運営されているかについては、1年間の活動終了時期に、中学生や保護者にアンケートを実施し、調査することも必要ではないだろうか。

(2) センターへの登録メリットについて

- ・中学生が団体に加わることで、次世代につながるという意識を持ってもらうことが大切である。
- ・新規の団体については活動場所がなかなか見つからない状況である。だからこそ、市内の施設の空き状況をセンターが把握し、団体の問い合わせに答えられる状況ができれば、それはメリットとなる。
- ・団体へのヒヤリングによって、どのようなことに困っているのかがより明確になれば、それを解消することがメリットにつながる。
- ・企業と提携することは、新たなメリットの創出につながる。

(3) 指導者の研修体制の整備について

- ・中学生時期の子どもの特性について学ぶ機会もあった方がよい。
- ・学び続ける指導者を地域で育ていきたい。学ぶ機会を提供していくことが重要である。

(4) 令和8年度までの中学生の受け入れ団体などの情報発信について

- ・現時点での中学生を受け入れ可能な団体については、センターへの登録が始まっていないため、社会体育部としての発信として保護者に伝わるように、丁寧な発信が重要となる。

【協議内容】学校体育施設や校舎、社会教育施設などの活用について

- ・「中学生のやってみたい」、「多様性」「地域の居場所」という方針の実現と、文化・スポーツ振興につながる施設活用について、検討する必要がある。
- ・どの施設も基本は定期利用団体が利用しており、新規の団体の定期利用は難しい状況にある。また、施設予約のルールや手続きが施設によって異なり、煩雑である。
- ・施設の空き状況が一元管理されており、すぐに空き状況の情報を提供できるシステムが求められる。
- ・中学校の施設については、現状として平日夜間のみの開放となっているが、すべてが利用されているわけではない。令和8年度以降は、部活動が終了し、学校施設は空き状況が増えることが容易に予想されるが、屋外施設については、夜間照明がないと活動時間帯は放課後に限定され、さまざまな団体が学校のグラウンドを利用したいというニーズには応えられない状況にある。
- ・学校施設については、令和8年度以降は部室を地域クラブが活用することもでき、競技用具も共有化できるなどのメリットがある。一方で、校舎のセキュリティの課題がある。体育館は独立で管理されているが、音楽室や美術室については独立されていないため、地域クラブ団体の利用にはハードルがある。
- ・吹奏楽については、学校が開放されたとしても、夜間に活動することは難しいため、現状の学校部活動の活動時間帯で活動できる会場の確保が求められる。
- ・学校部活動と地域クラブの活動が混在する令和6年度から令和8年度までの移行期の施設利用調整が重要である。
- ・施設予約は、オンライン予約システムによって手続きが簡略化できると良い。
- ・施設の整備については、全部を整備するというのは不可能である。整備が必要な場所を整理し、優先順位をつけて整備に取り掛かることが現実的である。
- ・整備の優先準備については、まずは競技による拠点を決めるという考え方もある。
- ・地域クラブの活動場所が担保できるように、計画的に段階を決めて施設整備を進めていってほしい。令和8年度には整備が進んでいることが望ましい。
- ・まずは市内で活用できる施設がどのくらいあるのか、どのくらいの整備が必要なのか、どのように利用調整を行っているのかなどの情報を一元化する必要がある。
- ・周南公立大学の施設も活用につなげたい。
- ・施設によって、施設利用に関する調整会議の状況も異なる。今後、早い者勝ちとなり、既得権が行使される状況では、新規の団体は立ち上がったが活動場所はないという状態となる。1年ごとに調整会議を設けるなどの改革が必要である。
- ・地元の定期利用団体だけで利用されていた状況から、新規の団体の希望が増えてきている状況に変わりつつある。予約管理システムを構築し、仕組みをオープンにしていく必要がある。
- ・要望に応じて整備していくことも重要だが、先を見通し、周南市の今後の文化・スポーツ振興につながる整備でなければいけないと考える。

周南市文化・スポーツ活動推進協議会 専門部会（第3部会）協議録
令和5年12月18日（月）
令和6年 1月22日（月）

【協議内容】「しゅうなんコミュニティ・クラブ」の体制について

(1) 目的について

- ・目的は、身近で活動できる、気軽に参加できる、低廉の活動費である、地域とつながる活動を用意する。
- ・「つどう つくる つながる」などのテーマを設けてはどうだろうか。
- ・子どもたちを対象としたスポーツ振興、文化振興と、社会教育、地域づくりという視点が重要である。

(2) 体制について

- ・クラブアシスタントという、活動プログラムの作成補助や指導者、地域との調整をする仕事は必要である。
- ・指導者が必要のないコミュニティ・クラブの活動では、活動を見守る人が必要である。
- ・1つのコミュニティ・クラブに必ず1人のクラブアシスタントをつけなくても良いかもしれない。
- ・大学生を地域サポーターの一員として活動させたい。また、アシスタントを担うことはできないだろうか。
- ・クラブアシスタントについては、今までにない業務を担うこととなるので、そのような業務ができる人材を養成するという視点をもたなければならない。

(3) 活動内容について

- ・方針により、文化芸術活動、スポーツ活動、地域伝統芸能活動、ボランティア活動、学習など、多様な活動を想定する。
- ・コミュニティ・クラブの代表中学生同士の交流機会があっても良いのではないだろうか。
- ・コミュニティ・クラブの活動はレクリエーション的な活動を想定し、指導者が必要な競技性の向上をめざすような活動は地域クラブの活動とすることで共通理解をしたい。
- ・活動プログラムについては、中学生が考えたプログラムと、地域から提案されたプログラムが想定される。

(4) 活動日・活動時間について

- ・活動を毎日しているわけではない。活動日数は、地域の実情に合わせて設定するのが良い。
- ・活動内容について企画検討するというミーティングの日もあれば、実際に活動するという日もある。その一連の活動のすべてがコミュニティ・クラブの活動である。
- ・活動時間は、部活動の活動時間帯を目安とする。

(5) 活動場所について

- ・中学生の移動手段、移動時間等を考慮し、活動場所を検討する必要がある。

スポーツ・文化活動体験会

実施報告書① 須々万中学校版

(公財)周南市体育協会

(仮称)周南市スポーツ活動推進センター

1 実施内容概要

実施日	令和5年11月11日(土)				
実施時間	9:00～11:10				
実施会場	周南市立須々万中学校				
参加料	500円/1人	参加者数	29名	参加料合計	14,500円
体験内容①	スポーツリズムトレーニング		講師	藤谷 真夕	
	時間	9:10～9:50		メディカルフィットネスWINS	
体験内容② 4つのプログラム から1つ選択	<現役国体選手が教える>アイスホッケー		指導者	山口アイスホッケー スポーツ少年団	
	時間	10:10～11:00			
	<目指せダンスマニア>ダンス		指導者	山縣 稔 回転少年(くるくるキッズ)	
	時間	10:10～11:00			
	<フィンランド発祥スポーツ>モルック		指導者	Mizusakids 周南公立大学	
	時間	10:10～11:00			
<ゲームを開発できるかも>プログラミング		指導者	吉見 知則 TechGen		
時間	10:10～11:00				

※開会行事として、周南市学校教育課(課長補佐)より所管説明、また体験会終了後にアンケートを実施した。

2 実施状況

スポーツリズム トレーニング		参加者数	詳細
会場:体育館フロア		29名	BGMを活用した運動パフォーマンス(リズム感)を向上させる為のトレーニング指導。保護者及び運営側の学生の参加もあった。
<現役国体選手が教える> アイスホッケー		参加者数	詳細
会場:中須中学校体育館		0名	希望者がいなかった為、未実施
<目指せダンスマニア> ダンス		参加者数	詳細
会場:体育館フロア半分		9名	ヒップホップダンスを音楽に合わせて踊る。数パターン of 振付をレクチャーし、最後には、参加者だけで1フレーズを踊れるようになった。
<フィンランド発祥スポーツ> モルック		参加者数	詳細
会場:グラウンド半面		18名	モルックを投げて、スキttlをたおす感覚を体験した。モルックの投げ方のコツ、狙うスキttl、ルールを学び、モルックの楽しさを知れた。
<ゲームを開発できるかも> プログラミング		参加者数	詳細
会場:体育館ステージ		2名	専用機材、教材を使用し、プログラミングとは何かを知り、親しんだ。マイクラウトを利用し、デジタル版のブロック遊びを体験した。

3 参加者分布

【全体参加者数 29名】

小学生	沼城小	17
	岐山小	5
	遠石小	1
	菊川小	1
中学生	須々万中	1
大人	保護者・指導者	4

小学校低学年	13
小学校高学年	11

4 アンケート集計 ※体験会終了後にアンケートを実施

1) 体験会参加のきっかけ【回答数 29】

学校で配布されたチラシ	17
知人・友人の紹介	3
SNS(インスタ・フェイスブック等)	3
ホームページ(体育協会)	1
ホームページ(周南市)	0
その他(親・指導者・ミニバス関係者など)	5

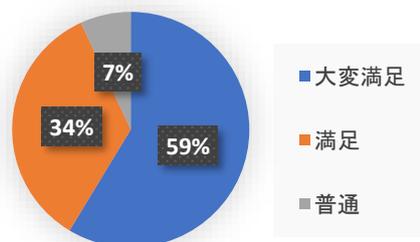
1) 体験会参加のきっかけ



2) 体験会の満足度【回答数 29】

大変満足	17
満足	10
普通	2
不満	0
大変不満	0

2) 体験会の満足度



2※) 満足度に伴う具体的な感想【回答数 21 無回答 8】

モルックが奥深くて楽しかった	7
ダンスが楽しかった	4
はじめてのリズム体操がたのしかったです	4
プログラミングが楽しかったです	2
もう少し時間があってもよかった(60~90分)	1
ダンスで汗をかくことができたから	1
楽しい雰囲気です子供たちがのびのび楽しそうにしていた	1
ルールをあまり知らなくても優しく教えてくれた(モルック)	1

3) 今後の中学校の部活動(中学校の部活動が地域でのクラブ活動 に変わっていくこと)について

知っていた	13
なんとなく知っていた	6
知らなかった	10

【回答数 29】

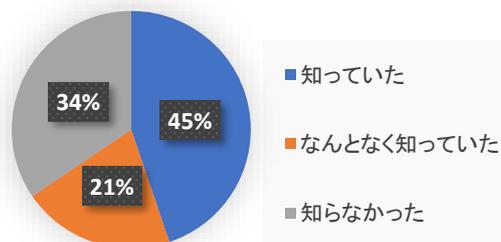
4) 中学校の部活動地域移行について周南市の取組について【回答数 29】

(令和8年度には中学校の部活動がなくなり、地域のクラブを選んで活動できるようになる)

(平日、休日の活動を一体として地域移行すること)

知っていた	7
なんとなく知っていた	10
知らなかった	12

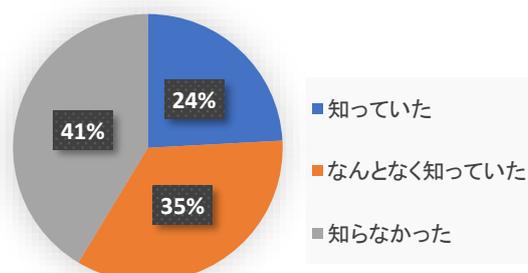
3) 今後の中学校の部活動



5) 令和8年度まではどちらで活動したい【回答数 29】

中学校部活動	7
地域クラブ	10
どちらとも	2
わからない	10

4) 地域移行について周南市の取組

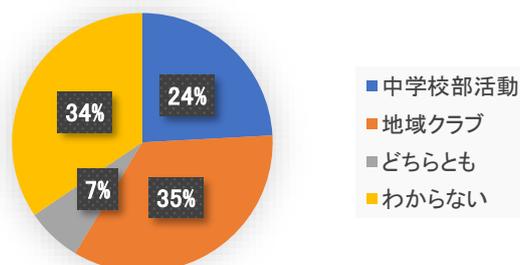


6) 地域のクラブで活動してみたいこと【回答数 12】

※5)で「地域クラブ」「どちらとも」と回答した方のみ回答

ダンス	4
バスケットボール	4
プログラミング	2
バドミントン	1
野球	1
空手	1
バレーボール	1
ゴルフ	1
モルック	1

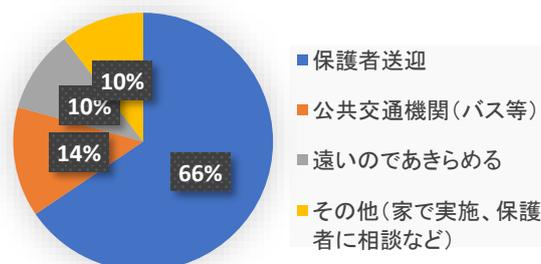
5) 令和8年度まではどこで活動



7) 自分が行きたいクラブの活動場所が遠かった場合のそこまでの交通手段【回答数 29】

保護者送迎	19
公共交通機関(バス等)	4
遠いのであきらめる	3
その他(家で実施、保護者に相談など)	3

7) 活動場所が遠かった場合



8) 本日の体験会の参加料(500円)について

【回答数 29】

高い	5
安い	4
ちょうど良い	20

スポーツ・文化活動体験会
実施報告書② 鹿野中学校版

(公財)周南市体育協会
(仮称)周南市スポーツ活動推進センター

1 実施内容概要

実施日	令和5年11月19日(日)				
実施時間	9:00~11:10				
実施会場	周南市立鹿野中学校				
参加料	500円/1人	参加者数	27名	参加料合計	13,500円
体験内容①	能力底上げのための身体づくり			講師	高菅 徹
	時間	9:10~9:50			Core studio 106
体験内容② 4つのプログラム から1つ選択	<打球は最速初速565km/h最速のスポーツ>バドミントン			指導者	桜木バドミントン スポーツ少年団
	時間	10:10~11:00			
	<かっこいい振付をマスター>ダンス			指導者	宮内 暖基
	時間	10:10~11:00			
	<フィンランド発祥スポーツ>モルック			指導者	Mizusakids 周南公立大学
	時間	10:10~11:00			
<ゲームを開発できるかも>プログラミング			指導者	吉見 知則 TechGen	
時間	10:10~11:00				

※開会行事として、周南市学校教育課(課長補佐)より所管説明、また体験会終了後にアンケートを実施した。

2 実施状況

能力底上げのための 身体づくり 会場:体育館フロア		参加者数 27名	詳細 座学、実践を通じて、全身の骨の位置や筋の最適な状態に気づかせ、楽しく正しく身体を動かすことの大切さについて学んだ。
<打球は最速初速565km/h最速のスポーツ>バドミントン 会場:体育館フロア半分		参加者数 11名	詳細 ラケットの持ち方、握り方、振り方について学ぶ。シャトルを打つ練習、サーブの練習、対面でのラリー、最終的にはゲームを経験した。
<かっこいい振付をマスター>ダンス 会場:体育館フロア半分		参加者数 5名	詳細 ヒップホップダンスを音楽に合わせて踊る。数パターンの振付をレクチャーし、最後には、参加者だけで1フレーズを踊れるようになった。
<フィンランド発祥スポーツ>モルック 会場:グラウンド半面		参加者数 2名	詳細 モルックを投げて、スキttlをたおす感覚を体験した。モルックの投げ方のコツ、狙うスキttl、ルールを学び、モルックの楽しさを知れた。
<ゲームを開発できるかも>プログラミング 会場:体育館ステージ		参加者数 9名	詳細 専用機材、教材を使用し、プログラミングとは何かを知り、親しんだ。マイクラウトを利用し、デジタル版のブロック遊びを体験した。

3 参加者分布

【全体参加者数 27名】

幼児	徳山中央幼稚園	1
	市外	1
小学生	鹿野小	10
	徳山小	2
	秋月小	2
	桜木小	2
	櫛浜小	1
	岐山小	1
	今宿小	2
	富田東小	1
	市外	2
中学生	岐陽中	1
	富田中	1

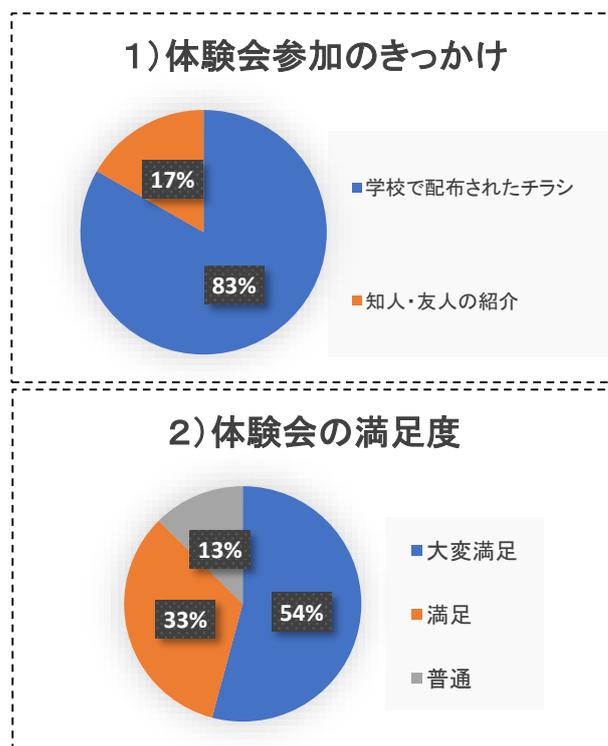
小学校低学年	12
小学校高学年	11

4 アンケート集計 ※体験会終了後にアンケートを実施

【回答者:参加者本人22名 保護者2名】

1) 体験会参加のきっかけ【回答数 24】

学校で配布されたチラシ	20
知人・友人の紹介	4
SNS(インスタ・フェイスブック等)	0
ホームページ(体育協会)	0
ホームページ(周南市)	0
その他	0



2) 体験会の満足度【回答数 24】

大変満足	13
満足	8
普通	3
不満	0
大変不満	0

2※) 満足度に伴う具体的な感想【回答数 11 無回答 13】

バドミントンが楽しかった	7
ダンス楽しかった	2
マイクラが楽しかった	1
子どもが友達がいなくて不安といていたが、終わりにはとても楽しかったと言っていたので、良かった	1

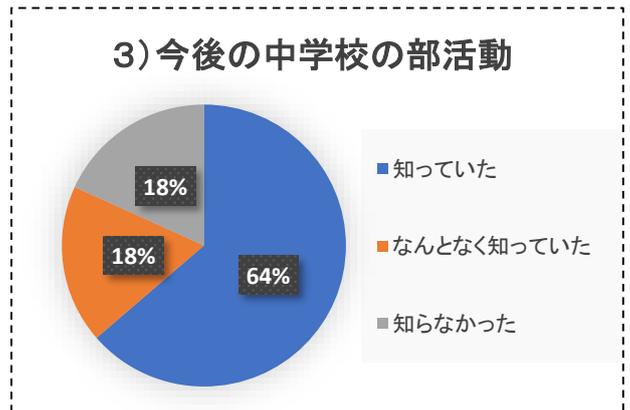
3) 今後の中学校の部活動(中学校の部活動が地域でのクラブ活動 に変わっていくこと)について

知っていた	14
なんとなく知っていた	4
知らなかった	4

【回答数 22 無回答 2】

- 4) 中学校の部活動地域移行について周南市の取組について【回答数 22 無回答 2】
 (令和8年度には中学校の部活動がなくなり、地域のクラブを選んで活動できるようになる)
 (平日、休日の活動を一体として地域移行すること)

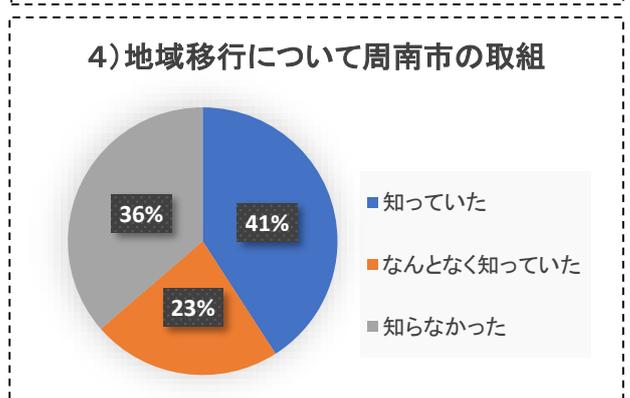
知っていた	9
なんとなく知っていた	5
知らなかった	8



- 5) 令和8年度まではどちらで活動したい

【回答数 23 無回答 1】

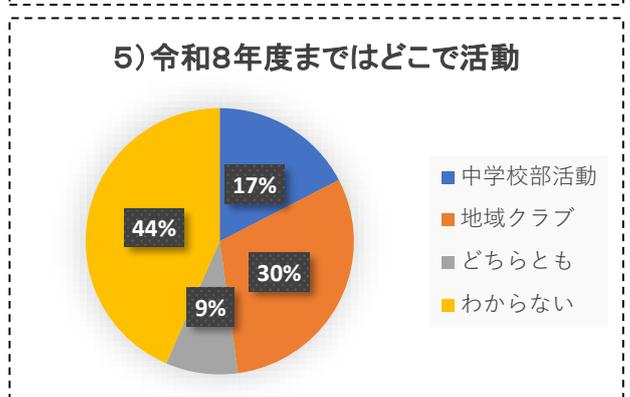
中学校部活動	4
地域クラブ	7
どちらとも	2
わからない	10



- 6) 地域のクラブで活動してみたいこと【回答数 9】

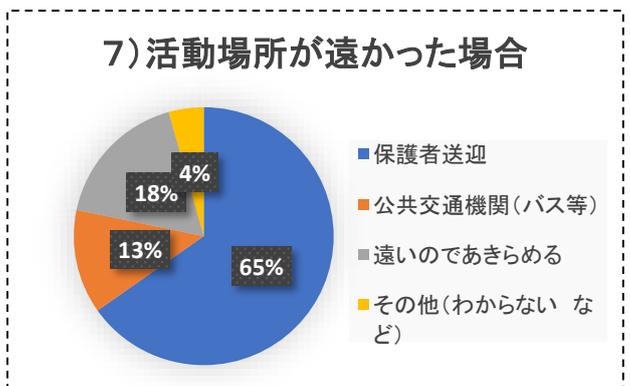
※5)で「地域クラブ」「どちらとも」と回答した方のみ回答

野球	3
バドミントン	5
モルック	2
プログラミング	1
ダンス	1
卓球	1
バレーボール	3
バスケットボール	2
現在習っている習い事(スイミング・バレエ・フェンシング等)	1



- 7) 自分が行きたいクラブの活動場所が遠かった場合のそこまでの交通手段【回答数 23 無回答 1】

保護者送迎	15
公共交通機関(バス等)	3
遠いのであきらめる	4
その他(わからないなど)	1



- 8) 本日の体験会の参加料(500円)について

【回答数 23 無回答 1】

高い	0
安い	0
ちょうど良い	23

スポーツ・文化活動体験会
実施報告書③ 熊毛中学校版

(公財)周南市体育協会
(仮称)周南市スポーツ活動推進センター

1 実施内容概要

実施日	令和5年11月25日(日)				
実施時間	9:00~11:10				
実施会場	周南市立熊毛中学校				
参加料	500円/1人	参加者数	18名	参加料合計	9,000円
体験内容①	体操を教えない体操教室			講師	岩倉 勇太 トレーニングスタジオ icratt
	時間	9:10~9:50			
体験内容② 4つのプログラム から1つ選択	<初心者でも楽しめる>ソフトボール			指導者	勝間ソフトボール スポーツ少年団
	時間	10:10~11:00			
	<かっこいい振付をマスター>ダンス			指導者	宮内 暖基
	時間	10:10~11:00			
	<フィンランド発祥スポーツ>モルック			指導者	Mizusakids 周南公立大学
	時間	10:10~11:00			
<ゲームを開発できるかも>プログラミング			指導者	吉見 知則 TechGen	
時間	10:10~11:00				

※開会行事として、周南市学校教育課(課長補佐)より所管説明、また体験会終了後にアンケートを実施した。

2 実施状況

<p>体操を教えない 体操教室</p> <p>会場:体育館フロア</p>		参加者数 18名	詳細 身体能力を鍛える(運動神経を向上させる)トレーニングを様々な用具を用いて指導いただいた。遊び的な要素も含めながら子供たちが楽しみながら取組める内容だった。
<p><初心者でも楽しめる> ソフトボール</p> <p>会場:グラウンド半面</p>		参加者数 4名	詳細 ティーバッティングによる打撃指導やソフトボールを打つことの体験、団員とのキャッチボール、ボールの握り方、投げ方などを指導いただいた。
<p><かっこいい振付をマ スター>ダンス</p> <p>会場:体育館フロア半分</p>		参加者数 6名	詳細 ヒップホップダンスを音楽に合わせて踊る。数パターンの振付をレクチャーし、最後には、参加者だけで1フレーズを踊れるようになった。
<p><フィンランド発祥スポ ーツ>モルック</p> <p>会場:グラウンド半面</p>		参加者数 2名	詳細 モルックを投げて、スキttlをたおす感覚を体験した。モルックの投げ方のコツ、狙うスキttl、ルールを学び、モルックの楽しさを知れた。
<p><ゲームを開発できるかも >プログラミング</p> <p>会場:体育館ステージ</p>		参加者数 6名	詳細 専用機材、教材を使用し、プログラミングとは何かを知り、親しんだ。マイクラウトを利用し、デジタル版のブロック遊びを体験した。

3 参加者分布

【全体参加者数 18名】

幼児	市外	1
小学生	勝間小	5
	大河内小	2
	久米小	1
	市外	2
	不明	5
中学生	熊毛中	1
大人	保護者	1

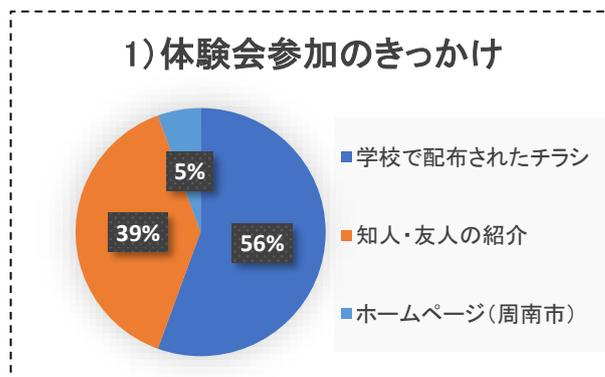
小学校低学年	3
小学校高学年	7
不明	5

4 アンケート集計 ※体験会終了後にアンケートを実施

【回答者:参加者本人17名 保護者1名】

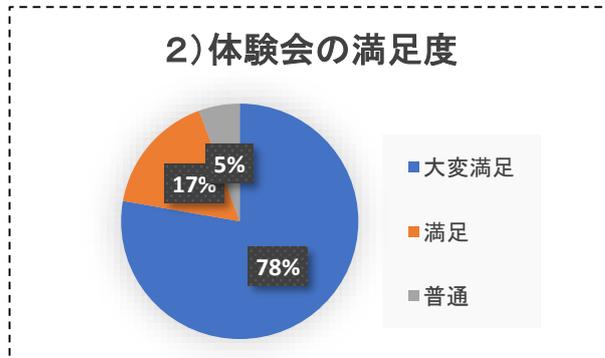
1) 体験会参加のきっかけ【回答数 18】

学校で配布されたチラシ	10
知人・友人の紹介	7
SNS(インスタ・フェイスブック等)	0
ホームページ(体育協会)	0
ホームページ(周南市)	1
その他(親・指導者・ミニバス関係者など)	0



2) 体験会の満足度【回答数 18】

大変満足	14
満足	3
普通	1
不満	0
大変不満	0



2※) 満足度に伴う具体的な感想【回答数 7 無回答 11】

体操教室もソフトボールもとても楽しかったから	2
ダンスを本気で教えてもらえたから	1
モルックは、老若男女問わず一緒に楽しめるので良い	1
キャッチボールやバッティング	1
身体能力が鍛えられて良かった	1
ゲームを自分たちで作り遊ぶことができたから	1

3) 今後の中学校の部活動(中学校の部活動が地域でのクラブ活動 に変わっていくこと)について

知っていた	10
なんとなく知っていた	4
知らなかった	4

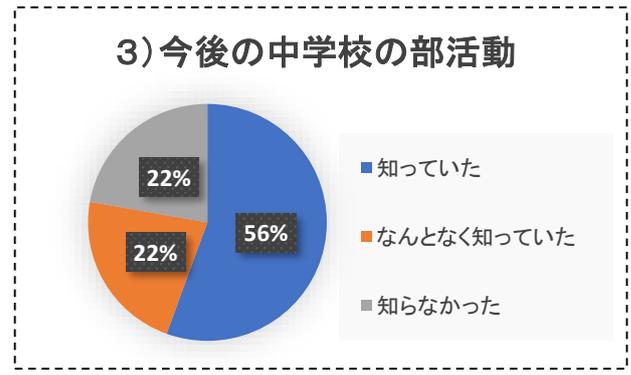
【回答数 18】

4) 中学校の部活動地域移行について周南市の取組について【回答数 18】

(令和8年度には中学校の部活動がなくなり、地域のクラブを選んで活動できるようになる)

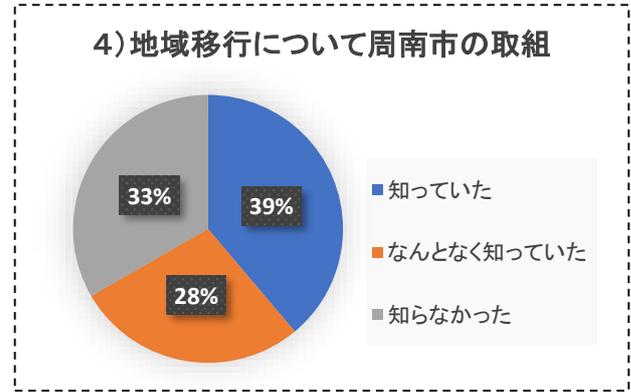
(平日、休日の活動を一体として地域移行すること)

知っていた	7
なんとなく知っていた	5
知らなかった	6



5) 令和8年度まではどちらで活動したい【回答数 18】

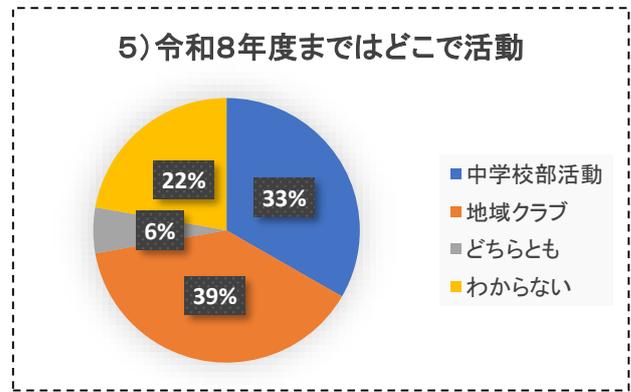
中学校部活動	6
地域クラブ	7
どちらとも	1
わからない	4



6) 地域のクラブで活動してみたいこと【回答数 8】

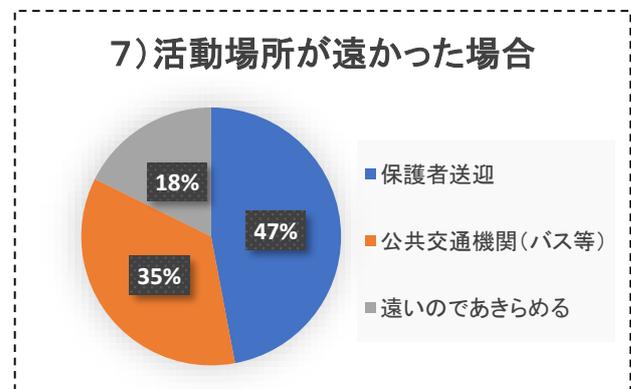
※5)で「地域クラブ」「どちらとも」と回答した方のみ回答

ダンス	4
プログラミング	2
体操(岩倉Tが提供された内容と推測)	2
バレーボール	1
ボランティア	1



7) 自分が行きたいクラブの活動場所が遠かった場合のそこまでの交通手段【回答数 17 無回答 1】

保護者送迎	8
公共交通機関(バス等)	6
遠いのであきらめる	3
その他(わからないなど)	0



8) 本日の体験会の参加料(500円)について

【回答数 17 無回答 1】

高い	2
安い	1
ちょうど良い	14

スポーツ・文化活動体験会

周南市の中学校部活動は令和8年度で廃止され、地域のクラブ活動を自ら選んで活動できるようになります



日時／3月3日(日)
会場／鹿野中学校

日時／3月16日(土)
会場／熊毛中学校

日時／3月17日(日)
会場／桜田中学校

日時／3月31日(日)
会場／須々万中学校

8:30

受付

9:00

開会行事・学校教育課より概要説明

9:10
(40分間)

体験① 基礎体力向上のための運動指導編

体操を教えない
体操教室



身体の土台を育てる
体軸教室



スポーツリズム
トレーニング



能力底上げのための
身体づくり



9:50

休憩・移動・準備

10:10
(50分間)

体験② 選択肢を広げるための文化・スポーツ体験編

4種類の内容から1つ選んで体験

バレーボール

鹿野バレーボールスポ少

野球

ルース周南軟式野球クラブ

ダンス
(HIPHOP)
回転少年

モルック
Mizusakids

ソフトテニス

周南市ソフトテニス連盟

空手

熊北空手スポ少

ダンス
(ZUMBA)
AMICHA AMIGO-S

モルック
Mizusakids

サッカー

湯野サッカースポ少

バスケットボール

ShunanBuds NEO Family

ダンス
(HIPHOP)
回転少年

プログラミング
TechGen

卓球

飛龍卓球クラブ

バドミントン

中須バドミントンクラブ

ダンス
(ZUMBA)
AMICHA AMIGO-S

プログラミング
TechGen

11:00

閉会行事

参加料 500円(保険料含)／1人1日

対象者 周南市内の小中学生とその保護者及び地域の方

定員 各回50名

申込方法 専用申込フォームより申込(右記QRコード参照)

持参物 体育館シューズ・水筒・タオル・参加料

【注意事項】●運動のできる服装で参加をお願いします。●主催者にて傷害保険に一括加入します。●天候によっては内容を一部変更する可能性がありますのでご了承ください。●この事業への参加をもって、写真撮影及びその利用の承諾をいただいたものとします。(広報誌やSNS等に使用することがあります)



トレーニングスタジオicratt メディカルフィットネスWINS Core Studio 106 鹿野バレーボールスポーツ少年団 ルース周南軟式野球クラブ
周南市ソフトテニス連盟 熊北空手スポーツ少年団 湯野サッカースポーツ少年団 ShunanBuds NEO Family 飛龍卓球クラブ
中須バドミントンクラブ 回転少年 AMICHA AMIGO-S Mizusakids(周南公立大学) TechGen

主催：周南市・(公財)周南市体育協会 共催：周南市教育委員会

お問合せ先

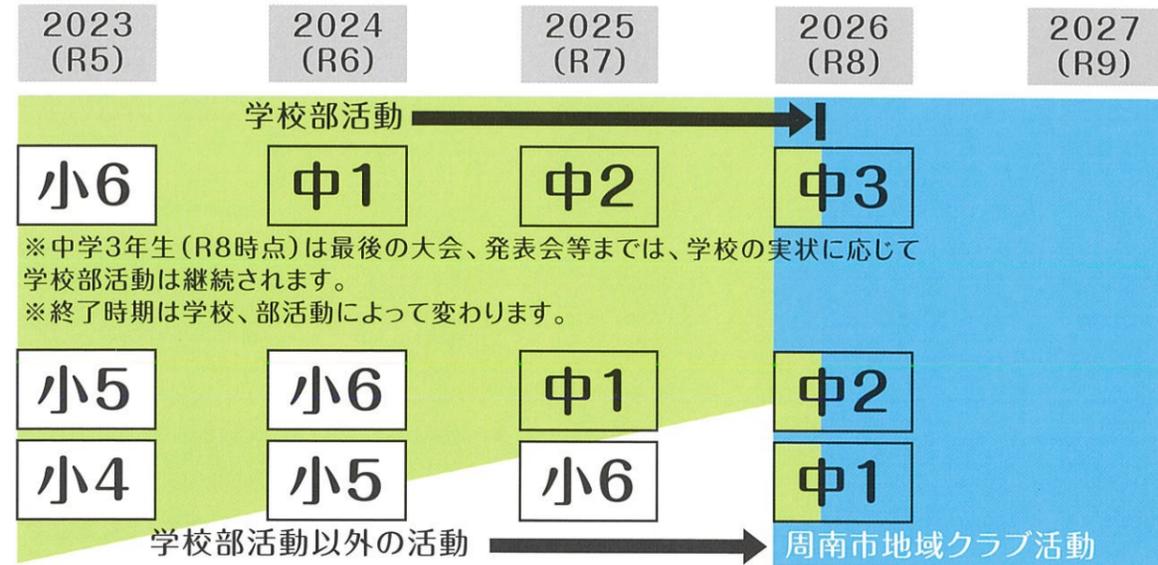
(公財)周南市体育協会

TEL 0834-28-0006

E-mail taikyo@shunan-taikyo.or.jp

周南市地域クラブの開始時期について

周南市地域クラブは、2026(令和8)年度からの完全実施をめざしています。2023(令和5)年度から2025(令和7)年度までを改革期間とし、2026(令和8)年度の中学3年生の最後の大会、発表会等までは、学校の実状に応じて学校部活動を継続できるものとします。



※ 中学3年生(R8時点)は最後の大会、発表会等までは、学校の実状に応じて学校部活動は継続されます。
 ※ 終了時期は学校、部活動によって変わります。

※ 中学1・2年生(R8時点)の募集は、学校の実状に応じて停止時期は異なります。
 ※ 中学1・2年生(R8時点)の活動は、中学3年生の最後の大会、発表会等までとなります。その後の学校部活動としての活動はありません。

周南市地域クラブへの望ましい参加の在り方

周南市地域クラブの活動の推進に向けて、学校では家庭とも連携して「自主的に参加する生徒」、「交流を大切にする生徒」、「心と体を大切にする生徒」の育成をめざします。このことは、「夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるように、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する」という本県のキャリア教育の目的にもつながるとともに、本市の教育大綱の基本理念である「子どもの夢に寄り添い『生き抜く力』を育む周南の教育」の実現にもつながるものと考えます。

「自主的に参加する生徒」

目的や目標をもって参加する生徒

「交流を大切にする生徒」

多世代と交流を大切にする生徒

「心と体を大切にする生徒」

活動と休息のバランスをとり、心と体を大切にする生徒

学校では「望ましい参加の在り方」を伝え、周南市地域クラブ活動をサポートしていきます

学校部活動の地域移行にかかる各種資料については、下記QRコードからご覧になれます



スポーツ庁説明動画



山口県学校安全体育課説明動画



山口県学校安全・体育課HP



周南市教育委員会学校教育課

周南市教育委員会 学校教育課 TEL 0834-22-8542

周南市 地域クラブに係る方針 について

「学校部活動」から、
「周南市地域クラブ」への
円滑な移行に向けて



2023(令和5)年11月
周南市教育委員会

進む少子化によって、市内中学校においても、学校部活動の選択肢が少なくなっており、中学生のやりたい部活動が選べなくなりつつあります。このため、本市では、中学生のやりたい活動ができる環境整備をめざし、部活動改革を推進していくための方針を策定しました。

基本方針

本市では円滑な部活動改革を推進するため、次の3点を基本方針としています。

周南市地域クラブの基本方針

「やってみたい」

市内すべての中学生の「やってみたい」に答えられる環境づくり

「多様性」

多様な地域で、多様な世代とともに、多様な文化芸術・スポーツ活動等への参加が可能な環境づくり

「地域の居場所」

中学生の居場所のひとつとなる環境づくり

学校部活動改革の方向性

- ① 令和8年度から新たな活動の開始をめざす
- ② 市内全域を対象とした新たな活動を行う
- ③ 平日、休日を一体として新たな活動を行う
- ④ 事務局を設置した仕組みづくりを行う

改革後の中学生の放課後や休日の過ごし方

部活動改革後の中学生の放課後や休日の過ごし方は、文化芸術・スポーツ活動に限定せず、中学生の「やってみたい」に答えるため、地域伝統芸能活動やボランティア活動、学習などを含めた生涯学習活動となります。改革後は、中学生はAさんのように一つの活動に専念するだけでなく、Bさんのように複数の活動に取り組むことも可能となります。

文化芸術活動



スポーツ活動



地域伝統芸能活動



学習



ボランティア活動

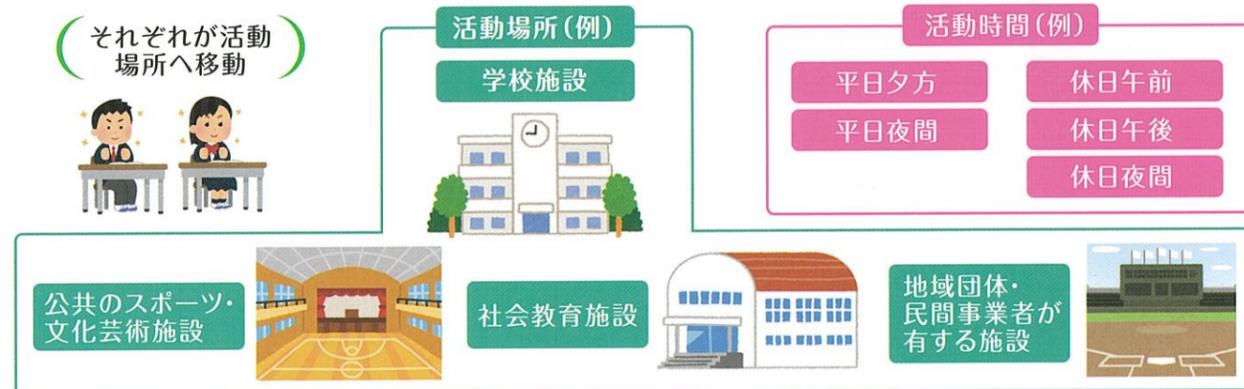


【活動例】

	月	火	水	木	金	土	日
Aさん	サッカー	サッカー	—	サッカー	サッカー	サッカー	—
Bさん	バスケ	書道	地域芸能	—	—	バスケ	—

改革後の中学生の活動場所や活動時間帯

部活動改革後は活動の場を周南市全域とし、学校施設や、公共のスポーツ・文化芸術施設、社会教育施設、地域団体・民間事業者等有する施設を活用して、地域の指導者のもとで活動することを想定しています。また、活動時間については、学校教育活動以外のすべての時間が活動対象時間となります。



事務局の設置と実施主体（「周南市地域クラブ」について）

従来の学校が実施主体として管理運営する「学校部活動」を、「(仮称)文化芸術活動推進センター」や「(仮称)スポーツ活動推進センター」、各センターへの登録団体等が実施主体として管理運営する「周南市地域クラブ」へと体制を変更します。



「周南市地域クラブ」について

部活動改革後、中学生は周南市地域クラブ、または、センターに登録していない団体や教室等から、自分のニーズにあった活動を選択し、参加することとなります。

